

タイトル

二人の教え子JKに拘束されて前から横からえっちなイタズラされちゃうボイス

//■先生（視聴者）..椅子に座ってる（拘束されてる）状態 ※以後、変更なし

//※各キャラの立ち位置は、『主人公の方を向いた状態でどこか』を基準で記載しています。

//■小夜..左前

//■雅..右前

//@BG:学校・部室（夕?）

※主人公は寝ているので小声で（もしくはエフェクトを掛ける?）

【小夜】

「うん、これで完成ね」

【雅】

「おーっ、意外と簡単に拘束できたね☆」

【小夜】

「ふふっ、せつかぐだから記念に……」

【雅】

「あたしも……」

//@SE:シヤツター音（スマホ）複数回?

※ここから一人とも普通の音量で（もしくはエフェクトオフ）

【雅】

「あつ♪ 起きた起きた♪」

【小夜】

「おはようございます、先生」

【雅】

「あははっ、そんな格好で普通に『おはよう』って……
くふふっ、マヌケすぎ☆」

【小夜】

「ふふっ、縛られてることに今、気付いたんですか？」

【雅】

「ん？ 『縛つたのはキミ達か』？ そーだよ、大正解♪」

【雅】

「先生がいつも『遊んでないで部活やろう』って言うから、
今日はマジメにやつてあげよーかなーって思つてたのに、
部室に来たら先生、寝てるんだもん」

◆耳打ち

【小夜】

「そんな先生の姿を見たら、悪戯したくなつてしましました♪」

◆耳打ち

【雅】

「くふふっ、たーっぷり悪戯しちゃお☆」

◆耳打ち

【小夜】

「覚悟してくださいね、先生♪」

【雅】

「もー、そんなに怖がんなくてもいいじやん」

【小夜】

「そうですよ、先生」

〃◆耳打ち

【小夜】

「あんまり怯えた顔を見せられると、逆にいじめたくなってしましますよ」

【小夜】

「なんて、嘘ですよ。ふふっ」

【小夜】

「安心してください、先生。痛いことも、怖いこともしないですから」

【小夜】

「ふふっ、律儀に頷く先生、可愛いです♪」

〃◆耳元で

【雅】

「ふうううううううう」

//@SE:椅子がガタつて鳴る? <先生が驚いたニュアンス

【雅】

「くふふっ！ 先生、めっちゃビックリした☆」

【雅】

「小夜ばっかり見て無防備にしてるから、思わずイタズラしちやつた☆」

【小夜】

「あら、嫉妬しちやつて、雅つてば可愛い♪」

【雅】

「しつ、嫉妬なんかしてないしつ」

【雅】

「てか！ 早く先生にイタズラしょーよ」

【小夜】

「そうね」

【小夜】

「それじゃあ、先生、失礼しますね」

≡◆耳打ち

【小夜】

「先生の体、見た目通り細いですね」

【雅】

「でも、女の子とは違った硬さがあつて、ちゃんと男の人って感じがする」

≡◆耳打ち

【雅】

「腕とかふにふにしてなくして、あたしと全然違う……」

【小夜】

「先生、時々、体がビクつてなりますけど、くすぐつたいんですか？」

≡◆耳打ち

【小夜】

「それとも、女子校生に体を触られるのが気持ちいいんですか？」

≡◆耳打ち

【雅】

「先生がして欲しけなら、いっぱい触つてあげるよ？」

【小夜】

「あら、首を横に振られちゃつた。まだ恥ずかしいんですか？」

【雅】

「んもー、先生つてば硬すぎだよ」

【雅】

「こーなつたら……」うだつ

「（）ちよ、（）ちよ、（）ちよ～☆」

【雅】

「あははっ、暴れても逃げられないぞ☆」

【雅】

「ほーら、ほーら！　くすぐられると体がふにやふにやになっちゃうでしょ」

※くすぐりは、（）まで。

【小夜】

「あら、本当。先生の体から力が抜けたわね」

【小夜】

「でも……」

◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、先生ってば『敏感』なんですね♪」

【雅】

「あ、先生、顔まつかになつた☆」

【雅】

「けど、まーた体が硬くなつちやつた」

◆耳打ち

【小夜】

「じゃあ、今度は私がくすぐつちやいますね」

【小夜】

「え？　『くすぐりはもう勘弁して欲しい』『？』」

【小夜】

「それなら深呼吸はどうですか？」

〃◆耳元で

【小夜】

「すうう……はああ……すうう……はああ……」

※頭の『んっ』は、ちょい色っぽく（字面通りじやなくとも大丈夫です）

【小夜】

「んっ……」

先生の耳元で深呼吸したら、先生の匂いを感じちゃいました♪

〃◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、とても素敵な匂いですよ？」

6

〃◆耳元で
【雅】

「え？ どれどれ？」

【雅】
「すんすん……」

〃◆耳打ち

【小夜】

「知つてますか、先生？ 匂いが好きな相手とは相性がいいらしいですよ？」

〃◆耳打ち

※なんの..体（性的な意味）を指してるので、ちょい強調してもらうのもありかもです

【小夜】

「ふふっ、『なんの』相性がいいんでしょうね？」

【雅】

「あっ、前にあたしがボディーソープ変えたとき、先生『いい香りだね』って言つたよね？」

【雅】

「へふふ、じやあ……」「…」

〃◆耳打ち

【雅】
「あたしと先生、相性バツチリだ☆」

【小夜】

「あら、そんなこと言つたんですか？」

「女の子を褒められるなんて偉いじゃないですか。いい子いい子♪」

【雅】

「これからもホメてくれたら、こんな風にいい子いい子してあげるね」

※奢める＝たしなめる

【小夜】

『『い』って、そんな格好で奢められても迫力ないですよ?』

＝★わかりづらい（違和感が出る）場合は、距離の変更なしで

＝■雅　..右前（やや遠め）　※ひっくりして少し離れた

【雅】

「そつ、そつだぞ」

【雅】

「い、いっちは切り札があるんだから……」

【小夜】

「これですよ」

＝■小夜：左前（距離激近）　※写真を見せるために近づいた

【小夜】

「ほら、寝てる先生の姿がしつかりと撮れてるでしょ？」

【小夜】

「もちろん、これだけじゃないですよ」

【小夜】

「こつちは先生にエッチな」としてるように見えるでしょ？」

〃◆耳打ち

【小夜】

「とても素敵な写真ですし、クラスメイトに自慢したくなっちゃいますね♪」

■■小夜：左前 ※写真を見せる前の距離に戻る

【小夜】

「先生のスマホにも送つておきますね」

【小夜】

「はい、送信完了♪」

〃■雅 ..右前

【雅】

「あ、先生、観念したみたい」

〃◆耳打ち

【小夜】

「ふふっ、じやあ遠慮なく先生のこと好きにしゃいますね♪」

【雅】

「ねえねえ、何する！」

【小夜】

「せつかく拘束しているんだし、今だから出来ることもしてみたいわね」

【雅】

「たとえばどんな？」

【小夜】

「んー……そ、うね……」

//◆耳打ち

//-----

【小夜】

「先生のおちんちん、見せて欲しいです」

※卑語なしver

【小夜】

「先生の男性器、見せて欲しいです」

//-----

【雅】

「うえいーー?」

【小夜】

「ネットで無修正画像を見た」とあるけど、
やつぱり生で見てみたいじゃない」

【小夜】

「雅は興味ないの?」

※虚勢

【雅】

「そ、そそそんなわけないじやん」

【雅】

「ただ、さすがにやりすぎかなー、って思つただけだし」

【小夜】

「(ノヽ)には私達と先生しかいないし大丈夫よ。
先生も言いふらすような人じやないし」

【小夜】

「それに……」

※雅に耳打ちしてるので小声（遠く）な感じで

【小夜】

「先生と『深い仲』になれるのよ？」

【雅】
「深い、仲……」

【雅】
「……もー」

//-----

【雅】
「先生のおちんちん見せて！」

※卑語なし ver

【雅】
「先生の、見せてー！」

//-----

【小夜】

「雅、先生は縛られてるから私達が脱がさないと」

【雅】
「あ、そつか」

（左）

//■ 小夜 … 股間前
//■ 雅 … 股間前

（右）
//※収録時の位置（マイクとの距離）は変更なし？

【小夜】

「失礼しますね？ 先生」

//@SE:椅子の音? <抵抗を表現

【雅】

「ちよっ、先生ー、縛られてるんだから暴れても意味ないつてば」

//@SE:衣擦れ？<ズボンを脱がす

【小夜】

「ふふっ、先生が身動きしたら腰が浮いて、とても脱がしやすかつたです♪」

//-----

【雅】

「うわー、うわー！　これが先生のおちんちん……」

※卑語なし ver

【雅】

「うわー、うわー！　これが先生の……」

//-----

//-----

【小夜】

「あら、先生のおちんちん、縮こまつてますね」

※卑語なし ver

【小夜】

「あら、先生の男性器、縮こまつてますね」

//-----

【小夜】

「なんだか可愛らしいです♪」

【雅】

「や、やつぱり……勃起したら……もつとでつかくなるんだよね？」

//-----

【小夜】

「ええ、もちろん。」

ネットに書かれた平均サイズを信じるなら……」のくらい、かしら？」

【雅】
「ふおお……」

【小夜】
「それじやあ、失礼しますね？ 先生」

【小夜】

「あ、思つたよりも柔らかい。なんだか不思議な感じです」

【小夜】

「でも、この感触、なんだか癖になつちゃいそうです」

【雅】
「あ、あたしも触るっ」

//-----

【雅】
「ふおおお……」が、先生のおちんちん……」

※卑語なしver

【雅】
「ふおおお……」が、先生の……」

//-----

【雅】

「先っぽはこんな感じになつてるんだ、へええ」

【雅】

「裏側は……おおおお……」

//-----

【小夜】

「ふふふ、雅つてば、まじまじとおちんちん見て、そんなに珍しいの？」

※卑語な^レ ver

【小夜】

「ふふい、雅つてば、あじまじとあやい」を見て、そんなに珍しいの？」

//-----

【雅】

「あ、当たり前じやん。初めて見るんだし」

【小夜】

「ネットに無修正画像なんていぐらでもあるのに？」

//-----

【雅】

「そうだけど……」

※卑語な^レ ver

【雅】

「好きでもない人のおちんちんとか見たくないし」

//-----

※普段は隠してる本音（好き）が無意識に口にしちゃって雅つてば可愛いなあ、なニュアンス

【小夜】

「ふふふふい」

【雅】

「？ あたし、なんか変な、ひひ顔ついた？」

【小夜】

「ううん、顔つてないわよ」

【小夜】

「私も雅を見習つて『観察』してみようかしら」

【小夜】

「すんすん……」

【小夜】

「匂いは……無臭、かしら？」

//-----

【雅】

「あ……先生のおちんちん、小夜の息が掛かつたらピクつてなった」

※卑語なこ ver

【雅】

「あ……小夜の息が掛けたたら、先生のピクつてなった」

//-----

【小夜】

「あら、可愛い♪」

【小夜】

「ふうう～～～♪」

【小夜】

「ふふひ、本当ね♪」

耳に息を吹きかけた時みたいに可愛い反応してると♪」

【雅】

「あたしも！ あたしもやる！」

【雅】

「ふうう～～～♪」

【小夜】

「勃起していなくとも反応するものなんですね、これは新発見です」

【雅】
「あっ、タマはそんなに重くないんだ」

【小夜】
「ふふふう、（）で精子が作られるんですよね」

【雅】
「（）へい……せーし……」

【小夜】
「あら、精子に興味あるの？」 雅「

【雅】
「ちよ、ちよっとだけね」

【小夜】
「生徒がこれだけ『お勉強』したいと思ってるんですし、先生にしつかりと教えてもらわないとけませんね♪」

【雅】
「けじそ……」

//-----

【雅】

「さうきからせんせーのおちんちん、全然勃起しないんだけど？」

※卑語なし ver

【雅】

「さうきからせんせーの、全然勃起しないんだけど？」

//-----

【小夜】

「確かにそうね」

//-----

【小夜】

「こんなに可愛い教え子がおちんちんいじつてるのに、
なんで元気にならないんですか？」

//-----

※卑語なしver

【小夜】

「こんなに可愛い教え子が男性器いじつてるのに、
なんで元気にならないんですか？」

【小夜】

「不能なんですか？」

【雅】

『緊張してそれど「ふらじやない』』？』

【小夜】

「部室は校舎の中でも奥まったところにありますから、
誰も来ないと思いますよ？」

【小夜】

「現に、今まで部活中に誰も来てないじゃないですか」

【雅】

「それに、あたしたちも『言いふらしたりはしないし、
何も心配することないよ？』

【小夜】

「まあ、それでも先生は生真面目だから気にしてしまいますよね」

【小夜】

「それなら、私達が先生の既成概念を取り払ってあげます♪」

【雅】

「なにすんの？」

【小夜】

「先生のことを徹底的に気持ちよくしてあげて、
男性の本能を解き放つてあげるの」

【雅】

「それって、あたしたちで興奮して……い、イク、ってこと?」

【小夜】

「そう。私達の魅力で先生のこと虜にしちゃうの」

【小夜】

「どうり……！」

【雅】

「いいじやん、それ！ やろうやろう！」

【小夜】

「あ、もちろん、先生に拒否権はありませんよ？」

【雅】

「もー諦めなつて、先生☆」

【小夜】

「せつかくだから、どちらの方が先生のことを
より虜に出来たか競争しましょうか？」

【雅】

「えく……」

【雅】

「小夜の方が知識いっぱいだし、あたしの方が不利じゃない？」

【小夜】

「勝つた方が、負けた方と先生に好きなことを命令——」

※食い気味に

【雅】

「やるうー！」

【小夜】

「決まりね♪」

＝■小夜…左前

＝■雅…右前

【雅】

「ね、ねえ……いきなり激しくするのはアレだし、じっくりやらない？」

【小夜】

「じっくり……」

※楽しそうな展開を想像し

【小夜】

「んふふ♪ いいわよ」

※自分のペースで行けそうなことにプチ安堵

【雅】

「ホソッ……」

【小夜】

「じゃあ、まずは私から」

【小夜】

「失礼しますね？ 先生」

＝■小夜…左前（近距離）

＝◆全体的に耳元で煽るような感じで？

＝ どう演出するかはお任せします

【小夜】

「ふふっ、先生に密着するのは初めてですね」

「どうです？ 雅ほどじやありませんけど、それなりに胸があるでしょ？」

【小夜】

「ふふっ、心臓の音、聞こえますか？」

【小夜】

「聞こえない』？」

【小夜】

「あ、もしかして……」

//@SE:衣擦れ<小夜が胸に手を当てた

【小夜】

「ふふっ、先生の胸、すゞいドキドキしてますね」

【小夜】

「私の胸を押し当てられるの初めてだから緊張しちゃつたんですね♪」

【小夜】

「ふうううううう」

【小夜】

「ふふっ、少しは体から力が抜けました？」

■■雅・右前（近距離）

◆全体制に耳元で煽るような感じで？

// どう演出するかはリビプロさんにお任せします

【雅】

「まだ硬いっぽいから、あたしも手伝ってあげる」

【雅】

「ふううううううう♪」

「片耳だけじや、バランス良く緊張がほぐれないみたいですね」

【小夜】

「じゃあ、二人一緒に……」

※同時

【小夜】

「ふううううう～～～～～♪」

※同時

【雅】

「ふううううう～～～～☆」

【小夜】

「あ、先生の首にうつすらと汗が滲んできてる……」

【小夜】

「先生は身動きが取れないですし、私が汗を拭きますね？」

【小夜】

「んっ……れる、ちゅっ、ちゅく……んっ、れる、れる……」

【小夜】

「ふふっ、誰も『ハンカチで汗を拭く』なんて言つてませんよ?」

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ……唇や……
れる、れる……舌で舐め取つても綺麗に出来ますから」

※汎用ボイス：雅のセリフ中、裏で流す用（汗を舐め取る）

【小夜】

「んっ、れる……ちゅっ、ちゅ……ん、んっ……れちゅ、れる……んん……」

【雅】
「先生がいつもチラチラ見てたおっぱい、腕に当ててあげる」

【雅】
「あ。むにゅつ、むにゅつ、って先生の腕に押し当てると、チラチラしちゃう」「あ。むにゅつ、むにゅつ、って先生の腕に押し当てると、チラチラしちゃう」

【雅】
「くふふつ、先生、チラチラ」うち見てる」

【雅】
「あたしがどんなブラつけてるのか気になる?」

【雅】
「今日はね、お気とのブラなんだよ? どんなのだとと思う?」

【雅】
「くふふつ、正解は教えてあげない☆」

【雅】
「気になるなら、いつもみたいにチラチラじやなくて、がつたり見ちゃつてもいいんだよ?」

【雅】
「ふううううう～～～♪」

【雅】
「ほおら、雅ちゃんはこっちだよー☆」

【小夜】
「ふううううう～～～♪」

【雅】
「あつ、今こっち向きかけてたのにつ」

【小夜】
「ふふつ、ごめんなさい」

「先生のこと、雅に取られるかと思つて嫉妬しちやいました」

【小夜】

「小夜がそう来るなら、あたしだつて」

【雅】

「んつ、れろ……れる、んつ、ん……れろ、れるれる、れる……」「……」

【雅】

「くふふつ、おっぱい押しつけながらの耳。ペロ。ペロ、興奮するでしょ☆」

【小夜】

「あら、なら私は激しくしようかしら♪」

【小夜】

「んつ、れちゅ、れろれろ、ちゅつちゅつ……
んつ、はあ、れろれろれろ、んん、ちゅう……」「……」

※同時？

【雅】

「んつ、れろ、れるつ……んん、れろれろ、んつ、れるつ……
れろ、んつ、れるれる、れろお……」

【小夜】

「れちゅる、れろれろ、れるう……んつ、れろれる、れちゅつ……
んちゅ、れろれろ、れるつ……」

【小夜】

「あつ♪」

【雅】

「？」

//-----

【小夜】

「先生のおちんちん、勃つてきただ♪」

※卑語な「ver

【小夜】

「先生の男性器、勃つてきただ♪」

//-----

【雅】

「あつ、ホントだ」

【小夜】

「でも、まだこんなものじやないですよね？」

【小夜】

「もつと硬く、大きくしてあげますね」

【雅】

「なにすんの？」

【小夜】

「あれだけ耳を責められたら私達の唇を意識しちゃつてるでしょーし……」

【小夜】

「キス、しましようか」

【雅】

「…？」

【小夜】

「先生、キスの「」経験はありますか？」

【小夜】
『ない』？」

【小夜】

「なら、これがファーストキス、ですね」

「もちろん、私もファーストキスですよ♪」

「す、ストップストップ！ 順番のへんこーをよーぼーします！」

「ふふつ、雅つてば慌てちゃつて、
そんなに先生のファーストキス欲しかったの？」

「ちがつ！ そんなんじやないし！」

「ハセ」

〔雅〕「うい……それは……あの……う———」

「ふふつ、もう、素直に先がいいって言えばいいのに」

※内緒話つぼくウイスパーで?

「あとで、たくさんキスしましようね、先生♪」

※雅が正面に移動するので、ちょっとだけ間を置く？

雅 正面

「じゃ、じゃあ……キス、する、よ……？」

※拙いキスなので、ちゅぱ音は少なめでお願いします

【雅】

「んつ……はつ……ん、んつ……んつ……」

【雅】

「はあつ……あははつ、先生のファーストキスもらっちゃつた☆」

＝■小夜：左隣（耳元？）

【小夜】

「先生、どうです？ 雅の唇は」

【小夜】

『柔らかかった気がする』？

【雅】

「気がするって……ちゃんと感触わかつてないの？」

【雅】

「なら、もつかい……」

【雅】

「んつ……ん、んん……はあ、んつ……んつ、ん……」

【雅】

「わかった？ あたしの唇の感触……」

【小夜】

「ふふっ、気持ちよかったですみたいですね、先生。
熱っぽい目になつてますよ？」

【雅】

「へえ～、あたしの唇、そんなに良かつたんだあ～」

【雅】

「じゃあ、もうつとめてあげるよ☆」

※このあたりからこなれてきて、ちゅぱ音が増えていく感じでお願いします

【雅】

「んつ、んつ……ん、ちゅつ、はあ……んんつ、ん、ちゅぱ、んつ……」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（キスするのみ）

【雅】

「ん、はあつ……はつ、んつ、ちゅつ、んん……
ん、ふつ、んつ、ちゅ……ん、んつ、んん……」

【小夜】

「先生はキスされるだけでいいんですか？
欲望に忠実になつていいいんですよ？」

◆耳打ち

【小夜】

「それとも、する方のファーストキスは私に取つておいてくれるんですか？」

【雅】

「んんつ、あげない……ん、ちゅつ、んん……
先生のファーストキスは全部、あたしのものなんだから……」

【雅】

「ん、ふつ……先生も、遠慮しなくていいんだからね？」

【雅】

「はあつ、んん……だから、先生からもして？」

【雅】

「んつ！　あつ、ん、んんつ……先生からもキスしてくれた☆」

【雅】

「いっぱいキスしあお？　んつ、ん、ちゅつ、ん、んんつ……」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（キスしたりされたり）

【雅】

「ん、ちゅ、んつ……んんつ、んつ、ちゅつ……
ちゅつ、ん、はあつ、んんつ、んつ……」

【小夜】

「先生、雅の唇は美味しいですか？」

【小夜】

『桃の味がする』?』

【小夜】

「んつ、ん……それ、あたしが使つてるリップのやつ……」

【雅】

「ちやんと、あたし自身の味を感じてよ、もお……」

【雅】

「先生、デキが悪いから補習ね……んつ、んつ、んんつ……」

◆耳打ち

【小夜】

「あんなこと言つてますけど、

本当は雅自身が先生とキスしたいんですよ♪」

【雅】

「んんつ、ん、ちゅ……んつ、ん、ふつ……
ん、ちゅつ、んんつ……ん、はあ、んつ、ちゅつ……」

【雅】

「んつ、はあつ……どう？ あたしの味、わかつた？」

【雅】

「あつ、やつぱり答えなくていい」

〃◆耳打ち

【雅】

「だって納得する答えを言われちゃつたら、
またキスできなくなっちゃうでしょ？」

【小夜】

「その時は嘘をついて、先生の答えを不正解にすればいいのに」

※その手があつたか！ と衝撃を受ける

【雅】

「！？」

【小夜】

「じゃあ、雅の補習授業も終わりましたし、
今度は私とキスしましようね、先生♪」

〃■小夜：正面

【小夜】

「先生の唇、つやつやしていますね。
雅のリップが先生の唇に移ったのかしら？」

〃■雅 …右隣（耳元？）

【雅】

「んふー☆ いっぱいキスしたもんね、先生♪」

【小夜】

「艶を帯びた先生の唇、とても色っぽいですよ。それはもう……」

〃◆耳打ち

【小夜】

「貪りたいくらいに」

【小夜】

「ふふっ、先生の瞳、潤んでますね。私とのキス、想像したんですか？」

【小夜】

「いいですよ、先生……。キス、しましょう」

◆耳打ち

【小夜】

「私と先生が想像した、貪るようなキスを」

※ディープキス

【小夜】

「んつ……れる、ちゅくつ……

んん、んむつ、ちゅぷつ、れちゅつ……ちゅふる、ちゅくうつ……」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（ディープキス）

【小夜】

「れる、れる……んつ、ちゅつ、ちゅろ、ちゅく……

んつ、ちゅふ、くちゅつ……ちゅく、ちゅるつ、んちゅう……」

【雅】

「うわあ……口の中にベロ、入れて……れるれる絡めて……」くつ、すい……」

※小声で。ボツリと（思わず漏れた本音@独り言）

【雅】

「あたしもすれば良かつたな……」

【小夜】

「んつ、れるう……先生の舌、んつ、ちゅく……
想像以上に柔らかいですね」

【小夜】

「ちゅふ、んつ、んるん……先生とのディープキス、とても気持ちよくて……
んつ、れちゅつ、ちゅくつ……高ぶってします」

【雅】

「あ……小夜の顔、火照つてきてる……」

【小夜】

「んちゅっ、れるつ、んん……」

私の舌をねぶる先生、積極的でとても素敵ですよ♪

【小夜】

「ちゅく、んつ、れちゅる……たっぷりと、ねぶりあいましょうね♪」

【小夜】

「んんっ、ちゅふ、れる、れちゅつ……ん、ちゅむつ、んる、えろれろ……
くちゅっ、んつ、ちゅふ、んつ、んつ……」

【雅】

「うわあ、口の端からヨダレ垂れちゃってる」

【雅】

「ぐくっ……キスって、こんなエッチな音するんだ。
見てる」うちまでエッチな気分になつてくる……」

【小夜】

「んんっ、ちゅく、れちゅつ……どうですか……
んつ、れるう……女子校生の味は……？」

【小夜】

「ん、はあっ、んちゅっ、れる……ふふつ、先生つてばキスに夢中で……
んつ！ 私の話、聞こえてない♪」

【小夜】

「れる、れろ、ちゅくう……んつ、んん……」

男の人も、キスが気持ちいいんですね」

【小夜】

「んん、ちゅく、ちゅふ……んつ、れちゅ、ちゅつ……」

先生が女子校生の味を忘れられないように……んつ、んんつ……」

【雅】

「あ……。先生の喉、動いてる……。小夜のヨダレ飲んでるんだ……」

【小夜】

「んんっ……駄目ですよ、先生……んっ、れちゅ、れちゅっ、ちゅっ……
ちゃんと、味わって飲まないと……」

【小夜】

「んっ、んっ、んん……はっ、んっ、れちゅ、くちゅっ、
こうやつて口の中に溜めた状態でキスをして……」

【小夜】

「ちゅぷ、ちゅっ、ちゅくっ……ん、れちゅっ、ちゅぷ、んんっ……
はい、どうぞ♪」

【小夜】

「は、んっ……今度は、先生のを飲ませてください」

【小夜】

「んんっ……れちゅっ、くちゅっ、ちゅぷ、んんっ、ちゅくっ、ちゅぷう……っ」

【小夜】

「ん、んっ……ん、ん……んっ……」

【小夜】

「はああっ♪」

【雅】

「うわあ……小夜と先生のベロ、糸引いてる……えろい……」

【小夜】

「ふふっ、先生、『もっとしたい』って目をしてますね」

【小夜】

「でも、駄目ですよ?」

【小夜】
「だつて集中できないんですもん」

//♦耳打ち

//-----

【小夜】

「先生の勃起したおちんちん、お尻に当たつてるから」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の勃起した男性器が、お尻に当たつてるから」

//-----

※拗ねるぐらいのニュアンスで

【雅】

「むつ……先生、あたしのときは、ノリまでおつきしなかつたくせに」

※私達を少し強調した感じでお願いします

【小夜】

「それだけ、私達とのキスが良かつたんですね、先生♪」

※小夜の『私達』という言葉を受けて、速攻で機嫌を直す

【雅】

「え？ そーなの？」

【雅】
「んもー、それならそーと言つてくれればいいのにー」

//♦耳打ち

【雅】

「したくなつたら言つてね？ いつでもキスしてあげるから☆」

【小夜】

「ね、先生、ここまで来たら、もう我慢できませんよね？」

//◆耳打ち

【小夜】

「ほら、言ひてください。『もう我慢できない。イキたい』って」

【雅】

「お願いしなくていいの？」

//-----

【雅】

「勃起したおちんちん、自分で慰めても絶対に物足りないよ？」

※卑語なこ ver

【雅】

「あれだけのキスをしたあとに、自分で慰めても絶対に物足りないよ？」

//-----

//◆耳打ち

【雅】

「先生のキモチ、聞かせて？」

※先生が話してゐる間を少しだけ？

【小夜】

「はい、よく出来ました♪」

//◆耳打ち

【小夜】

「じやあ……しつかりと、抜いてあげますね♪」

//-----

【小夜】

「先生のおちんちん……熱くて……硬くて……ぬるぬるで……たまらないです」

※卑語なこ ver

【小夜】

「先生の男性器……熱くて……硬くて……ぬるぬるで……たまらないです」

//-----

//-----

【雅】
「先生、どう？ 女子こーせーの手で、おちんちんシロハコされるのは
//-----」

※卑語なこ ver

【雅】
「先生、どう？ 女子こーせーの手でシロハコされるのは
//-----」

【小夜】
「あら、まだ触つただけよ？」

【小夜】

「シロシロって言うなら、このくらうしないよ♪」

※こーから本格的に手コキ開始

【小夜】

「んつ、んつ……んつ、んつ……！」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（手コキのみ）

【小夜】

「んつ、んつ……んつ、ん……んつ、んつ、んん……ひー！」

【雅】

「うわー、小夜が手を上下に動かしたら、先生、ビクンってなった」

【小夜】

「ふふー、いきなりカリ首は刺激が強すぎたかしら？」

【小夜】

「でも、やめませんよ？ ほらほら♪」

【雅】

「うわあ、小夜が手を動かすとクチュクチュってエロい音がする」

◆耳打ち

【雅】

「ね、先生、気持ちいいの？
先走り汁いっぱい出しちゃうぐらい、気持ちいいの？」

【小夜】

「ああ、感じてる先生の顔、素敵♪」

◆耳打ち

【小夜】

「先生、せつかくですし、キスの続きをもしょ♪」

※手コキは続けてます

【小夜】

「んんっ、ちゅっぷ、ちゅくつ……はあ、んつ、れちゅつ、ちゅく、ちゅむつ……」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（手コキ＋キス）

【小夜】

「ちゅつ、んちゅつ、んつ、んん……
んつ、はつ、ちゅく、ちゅつ、ちゅつ、んんん……つ！」

【雅】

「ね、先生、小夜の手、先生が出した先走り汁でぬるぬるになってるよ」

◆耳打ち

【雅】

「くふふ、生徒の手をエロく汚しちゃうなんて、先生ってばイケナイんだ☆」

//-----

【小夜】

「ちゅふつ、んつ……先生の男性器、また大きくなりましたね」

※卑語なし ver

【小夜】

「ちゅふつ、んつ……先生の男性器、また大きくなりましたね」

//-----

【小夜】

「ふふっ、背徳的なエッチっていいですよね♪」

【雅】

「へえ～、先生ってば背徳的なのが好きなんだあ～、スケベ☆」

【小夜】

「もつともっと背徳的なこと、しましようか♪」

【小夜】

「何をするのかって？」

【小夜】

「先生の体にキスマークをつけるんです」

【小夜】

「そうしたら、他の先生方に気付かれないとキドキしますし、着替えるときやお風呂に入るときに思い出すでしょ？」

〃◆耳打ち

//-----

【小夜】

「ふふっ、その度に先生のおちんちは勃起してしまいますかね？」

※卑語なしver

【小夜】

「ふふっ、その度に先生の男性器は勃起してしまいますかね？」

//-----

〃◆耳打ち

【雅】

「勃起したときは、あたしたちとのキスとか、おっぱいとか思い出して……」

//◆耳打ち

//-----

「今、小夜がしてるみたいに、何度もおちゃんちゃんシロシロして、
いついつぱい抜いていいよ☆」

※卑語なこ ver

【雅】

「今、小夜がしてるみたいに、何度もシロシロして、
いついつぱい抜いていいよ☆」

//-----

【小夜】

「先生が私達のことを思い出せるように、たくさんキスマーカーをつきますね♪」

※キスマーカーをつけるので、音は少し強めで？

【小夜】

「んつ、ちゅつ、ちゅつ、んつ、んつ……
んつ、ちゅつちゅつ！　んつ！　んつ！」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（手コキ+キスでマーリング）

【小夜】

「んつ、んつ、ちゅつ！　ちゅつ、んんつ、ちゅつ！
はあつ、んんつ、ちゅつ、ちゅつ！」

【雅】

「くふふつ、先生の顔、とろいとろだあ☆」

【小夜】

「首だけじゃなくて、体にもキスマーカーつけちゃいますね♪」

//★SEを入れるとテンポが悪くなる場合は、そのまま次の小夜のセリフへ移行してしまつてください。

//@SE:衣擦れ（服を脱がせる）音

【小夜】

「まずは胸から……んつ、ちゅつ♪ んつ、んんつ、ちゅつ♪
ちゅつ、んん、んつ、んつ♪」

【雅】

「先生、男の人なのに肌が白いから、キスマーク、すり抜けて目立つよ☆」

〃◆耳打ち

【雅】

「あ、首のキスマークはしつかりネクタイ締めないと見えちゃうかも」

〃◆耳打ち

【雅】

「これじや、人前でネクタイ緩めらんないね☆」

〃-----

【小夜】

「んつ、ちゅつ、ちゅつ、んん……」

先生のおちんちん、どんどん逞しく反り返つていいく♪」

※卑語なし ver

【小夜】

「んつ、ちゅつ、ちゅつ、んん……」

先生の男性器、どんどん逞しく反り返つていいく♪」

〃-----

【雅】

「うわあ、ガチガチに勃起した先生のおちんちん、先走り汁でぐろぐろぐろ☆」

※卑語なし ver

【雅】

「うわあ、ガチガチに勃起した先生の、先走り汁でぐろぐろぐろ☆」

〃-----

【小夜】

「ちゅつちゅつ、んつ、それだけじゃないわよ？」

「ちゅつちゅつ、んつ、それだけじゃないわよ？」

【小夜】
「んんっ、ん、んちゅっ、
今にも破裂しそうなぐらいパンパンに膨らんでて、今にも爆発しちゃいそう」

〃◆耳打ち

【雅】
「もしかして、先生、イキそうなの？」

【小夜】
「ふふっ、ちゅっ、んっ、んん、必死に頷いちゃって可愛い♪」

【小夜】
「でも——」

※ここで手コキストップ

【小夜】
「まだイカせてあげません」

【小夜】
「そんな切なそうな目で見つめても駄目ですよ？　だつて……」

【雅】
「次はあたしがシコシコする番だよ☆」

〃■雅　　股間前（真っ正面）

【雅】
〃-----

「うわあ……先生のおちんちん、近くで見ると
シコシコされすぎて先走り汁が濁っちゃってる……」

※卑語なし ver

【雅】

「うわあ……先生の、近くで見ると
ソコシコされすぎて先走り汁が濁っちゃってる……」

//-----

【雅】

「それに……ぐんぐん」

【雅】

「離れてたときには感じなかつたエッチな匂いがすゞゞ」

「う」ぐい……」

【雅】

「じや、じやあ……握る、よ……？」

//-----

【雅】

「あ……おちんちん、熱いって言うよりあつたかいって感じかも」

※卑語なし ver

【雅】

「あ……先生の……」熱いって言うよりあつたかいって感じかも」

//-----

【雅】

「先走り汁ってちょっと糸は引くけど、思ったよりぬるぬるしてない……」

■■小夜：左隣

◆耳打ち

//-----

【小夜】

「もどかしそうな顔して……先生、おちんちん、切ないんですか？」

※卑語なこver

【小夜】

「もじかしそうな顔して……先生、早く男性器しゃりこで欲しいんですか？」

//-----

※小夜の言葉を受けて待たせてたことに気付く

【雅】

「あ……」

【雅】
「んむお、我慢できないなら、『おねだり』してくれればいいのに」

//-----

【雅】

「じやあ……ねらんちん、シロノコす、ぬよる。」

※卑語なこver

【雅】

「じやあ……ハロハロするよ。」

//-----

※たまたま感じなので、気持ちゆくらめで？

【雅】

「んつ……ん、いと……んつ……ん……んつ……」

【雅】

「あ……先走り汁がとろーり出てきた」

【雅】

「くふふ、先生、気持ちいいんだあ～」

※汎用ボイス：小夜のセリフ中、裏で流す用（手ヨキ）

【雅】

「んつ……んつ……んつ……んつ……」

【小夜】

「ふふっ、雅の手も先走り汁でぬるぬるにしたいんですか？」先生」

//◆耳打ち

【小夜】

「いいんですよ？ 好きなだけ先走り汁まみれにして」

//-----

【雅】

「わっ、あたしの手の中でおちんちん、ビクンってなった」

※卑語なこ ver

【雅】

「わっ、あたしの手の中で先生の、ビクンってなった」

//-----

【雅】

「んっ、んっ……」いやつて反応してくれるの、んっ、ん、すゞく、嬉しい☆」

【雅】

「むうともうとしてあげる……んっ、ん……んっ、ん……」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（さつきよりも少しテンポ速め）

【雅】

「んっ、んっ……んん、んっ……ん、んっ……ん、ん、ん……」

//-----

【小夜】

「ふふっ、雅つてば先生のおちんちんに夢中になっちゃつてますよ」

※卑語なこ ver

【小夜】

「ふふっ、雅つてば先生の男性器に夢中になっちゃつてますよ」

//-----

//♦耳打ち

【小夜】

「私も、先生に夢中ですよ♪」

【小夜】

「んつ、ちゅつ、ちゅつ……はあつ、んちゅつ、ちゅつ……」

【小夜】

「ふふっ、耳にキスされても感じちゃうんですね、先生は♪」

【小夜】

「ほら、雅、もつと気持ちよくしてあげないと、
先生、耳の方に集中しちゃうわよ？」

★★雅のセリフが聞こえづらくなるなど、何か支障がある場合はスルーしてください。
※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（耳にキス）

【小夜】

「ちゅつ、ちゅつ……ん、ちゅつ……はあ、んつ、ちゅつ、ちゅつ……」

【雅】

「ちよ、ダメっ」

//-----

【雅】

「こうなつたら、両手で先生のおちんちんを——」

※卑語なしver

【雅】

「こうなつたら、両手で先生のを——」

//-----

【雅】

「んつ、んつ……んん……ん、んつ、んんつ……」

「んつ、んつ……んん……ん、んつ、んんつ……」

//-----

【雅】

「あっ、おちんちん、ビクンつでした」

※卑語なこ ver

【雅】

「あっ、先生の、ビクンつでした」

//-----

【雅】

「ううう～、の出っ張ったどり～ハコシロされるのがいいの？」

「それじやあ、うう～、いっぽい擦つてあげるね☆」

【雅】

「んん～、ん～……は～、ん～、ん～……ん～、はあ、ん～、ん～……」

//◆耳打ち

【小夜】

「カリ首をしげ」がれて身悶えする先生、可愛いです♪」

【小夜】

「ちゅ～、ちゅ～、ちゅ～……はあ、ん～……ちゅ～……」

//-----

【小夜】

「ふふ～、おちんちんに感覚を集中できないでしょう？」

※卑語なこ ver

【小夜】

「ふふ～、男性器に感覚を集中できないでしょう？」

//-----

【小夜】

「なんでもんなことをするのかって～。」

【小夜】

「先生が悶える姿を見たいんですね♪」

【雅】

「んつ、んつ、ほら、先生こいつ見て?
あたしの手、んんつ、先生の先走り汁でぬるぬるだよ?」

【雅】

「んんつ、ん、ん、こ)のまま、先走り汁だけじやなくて、
んつ、んつ、精液も出しちゃつていいよ?」

//◆耳打ち

【小夜】

「こ)のまま射精したら、雅の顔に精液がべつたりついちゃいますね♪」

//◆耳打ち

【小夜】

「私も……先生の精液、欲しいです」

【小夜】

「んつ、れる……れろお……んつ、れる、れる……んんつ……」

//-----

【雅】

「むつ、小夜に耳を舐められた時の方が、先生のおちんちん反応がいい」

※卑語なし ver

【雅】

「むつ、小夜に耳を舐められた時の方が、先生の反応がいい」

//-----

【雅】

「そんなに舐められるのが好きなら、あたしだって！」

【雅】
「あむつー！」

【雅】
「んつ……ちゅくつ、ちゅむつ……んちゅつ……ちゅぶ、ちゅくう……」

※これ以降、セリフ部分も咥えたまま（わかりづらくなりすぎない程度に）でお願いします

//-----

【雅】
「ん、ふあ……先生のおちんちん、口の中でビクンビクンって震えてる☆」

※卑語なしver

【雅】

「ん、ふあ……先生の、あたしの口の中でビクンビクンって震えてる☆」

//-----

【雅】

「ちゅつ、ちゅく……ちゅくつ、んんつ……
いっぽいしゃぶつてあげるからね、先生☆」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（フェラ）

【雅】

「んつ、ちゅく……ちゅくつ、ちゅつ……
ちゅぶ、んちゅつ……ちゅく、ちゅむつ……」

【小夜】

「口でするのって、手でするのとはまた違った卑猥さがありますね」

//◆耳打ち

【小夜】

「私も、興奮してきちゃいました……」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（吐息）

【小夜】

「はあ……はあ……んぐつ……はつ、はあつ……はあ……」

//-----

【雅】

「んちゅつ、ちゅる、んんつ……
先生のおちんちん、ちょいとしょいぱい……」

※卑語なこver

【雅】

「んちゅつ、ちゅる、んんつ……
先生の、ちょっとしょいぱい……」

//-----

【雅】

「んむつ、んつ、ちゅぱあ……でも、美味しいよ?
ちゅく、ちゅつ、んん……あたし、これ好きい……」

【雅】

「ちゅる、んつ、ちゅぱつ……んん、あたし、一日中しゃぶってられるよ?」

【雅】

「だから、んちゅつ、イクの我慢し続けて、
いっぱいあたしの口、たんの一してね☆」

【雅】

「んつ、ちゅく、ちゅる……んんつ、ちゅびつ……
ちゅつ、ちゅつ、んふ、んつ……」

【雅】

「んふふつ、先生、あたしの口、ジツと見てる……
れちゅつ、ちゅるつ、ちゅく……ちゅば、んつ、ちゅる、ちゅむ、んんつ……」

【小夜】

「もう我慢できません……」

//◆耳打ち

【小夜】

「ね、先生……雅に隠れて、イケナイ！」『しましよう？』

//@SE:拘束を外す音

【小夜】

「片手だけですけど、これで少しほは自由に動かせますよね」

【小夜】

「それで……」

//@SE:手を動かす（衣擦れ？）

【小夜】

「ほら、わかりますか？」

//◆耳打ち

//-----

【小夜】

「下着の上からでもわかるくらう、私のおまんこ濡れでいるでしょ？？」

※卑語なこ ver

【小夜】

「下着の上からでもわかるくらう、私のアソコ濡れでいるでしょ？」

//-----

//◆耳打ち

【小夜】

「下着の中は、もおーっと、すゞい」とになつてあります♪』

【小夜】

「今、確かめさせてあげますね」

//@SE:指を挿入

//-----

【小夜】

「んっ！ あっ、はあ……先生の指が、私のおまんこの中に入ってる……」

※卑語なし ver

【小夜】

「んっ！ あっ、はあ……先生の指が、私の中に入ってる……」

//-----

◆耳打ち

//-----

【小夜】

「私、オナニーはクリトリス派なので、
おまんこの中に初めて入れたのは先生の指なんですよ？」

※卑語なし ver

【小夜】

「私、オナニーはクリトリス派なので、
私の中に初めて入れたのは先生の指なんですよ？」

//-----

【小夜】

「んっ、あっ……はあっ、んんっ……
先生の指を使ってオナニーするの、気持ちいい……！」

※汎用ボイス：雅のセリフ中、裏で流す用（オナニー）

【小夜】

「あっ、あっ……んっ、ああ……んんっ……あっ、はあっ……んっ……」

【雅】

「んんっ！」

//-----

【雅】

「んんっ！」

「ちゅくっ、んちゅっ、んっ……先生のおちんちん、口の中で暴れすぎ☆」

※卑語な「ver

【雅】

「ちゅくっ、んちゅっ、んっ……先生の、口の中で暴れすぎ☆」

//-----

【雅】

「んっ、ちゅっ、ちゅ。……舐められながらシロシロされるのいいんだ？」

「くちゅっ、ちゅっ、んんっ……

もつとしてあげるから、もつと気持ちよくなつて？」

【雅】

「ちゅふっ、ちゅるっ、ちゅうっ……

だんだん、先生の弱いといわかつてきた……」

【雅】

「ちゅくっ、れちゅ、ちゅくっ……ん、んっ……

「うやつて、たまにビロでチロチロされると、ビクンつてなるよね☆」

【雅】

「んっ、れちゅ、ちゅくっ……んん……

先生の弱いとい、あとで全部メモうとい☆」

「んっ、ちゅふ、んっ、くちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……
はあっ、んちゅっ、ちゅるっ、ちゅくっ……」

【小夜】

「あんっー。」

【雅】

「ん……？」

【雅】

「ちよつ！ 小夜、なにしてんの！？」

【小夜】

「あら、先生の手でオナニーしてるの見つかっちゃった」

【雅】

「小夜、ズルい！ あたしも先生の手でエッチなことしたいのに！」

【小夜】

「じやあ、交代しましようか？」

〃◆耳打ち

【小夜】

「続きは、また今度しましようね♪」

〃■雅 ..正面（右寄り？）

〃★小夜との距離感の差が出せない場合は『右隣』に変更？

【雅】

「もー、小夜つてば油断も隙もないんだから……」

〃■小夜 ..股間前（真っ正面）

〃-----

【小夜】

「先生のおちんちん、雅の唾液と先生の先走り汁でどろどろですね」

※卑語なし ver

【小夜】

「先生の男性器、雅の唾液と先生の先走り汁でどろどろですね」

〃-----

【小夜】

「でも……もつといひじりにしちゃいますね？」

【小夜】

「んつ、じゅふつ、ぐふうつ……じゅわつ、わゆうつ……
じゅぼつ、じゅふつ、んん……」

※以後、セリフは略えてる感じでお願いします

【小夜】

「んじゅつ、じゅるつ、んん……

ふふい、キスの時みたいにいきなり激しくされると思いました？」

【小夜】

「んつ、ちゅふつ、んぢゅつ……でも、そんな」としたら、
先生、すぐイッちやうかもしれないじゃないですか？」

【小夜】

「だつて……」

//-----

【小夜】

「先生のおちんちん、

今にも破裂しそうなほどパンパンに膨らんでるんですけどもん」

※卑語な ver

【小夜】

「先生の男性器、

今にも破裂しそうなほどパンパンに膨らんでるんですけどもん」

//-----

//-----

【小夜】

「だから、少しでも長く先生のおちんちんにフェラチオ出来るように、じっくりと、でゅ～」

※卑語な ver

【小夜】

「だから、少しでも長くフェラチオ出来るように、じっくりと、でゅ～」

//-----

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（フェラ）

【小夜】

「じゅくつ、ぢゅむつ……じゅぷつ、ぢゅむつ、んじゅるつ……
じゅぐつ、ぢゅぷつ……」

【雅】

「ね、先生……あたしのおっぱい、すうじいんだよ？」

//◆耳打ち

【雅】

「今なら片手が自由だから、触り放題だよ☆」

//@SE:衣擦れ？<胸が触ったことがわかるように

【雅】

「ブラでしつかり支えてあるのに、
おっぱい、マシユマロみたいにふわっふわでしょ☆」

【雅】

「あんっ！」

【雅】

「くふふつ、先生からおっぱい揉んできた☆」

【雅】

「あたしは『触り放題』って言つたのに、先生、揉んじやうんだあく、
エツチいー☆」

//◆耳打ち

【雅】

「でも、先生にならいいよ？ 揉み放題にしてあげても」

【雅】

「あたしのふわふわおっぱいは、先生のモノだから」

【雅】

「んつ、あつ……はあ……あつ、んつ、んつ……
積極的な先生、ステキだよ☆」

【雅】

「はあつ、はつ、んつ……あたしも積極的に、好きなことしよ☆」

【雅】

「んつ、あつ……何をするのかって？」

△◆耳打ち

【雅】

「でいー。ふきす☆」

【雅】

「んむつ、んちゅつ、れちゅつ……」

「くちゅつ、ちゅぱつ、んむ、んんつ、んうつ……」

【雅】

「んちゅつ、ちゅぴつ、ディープキス、すごい……んんつ、ちゅく、
あたしと先生のツバがクチュクチュつて混ざる音が頭の中に響くつ」

【雅】

「はあつ、んつ、ちゅつ、ちゅつ……普通のキスも良かつたけど、
んむつ、れちゅつ、こっちのキスの方が何倍も気持ちいいかも」

【雅】

「ちゅくつ、んむ、ちゅふつ……おっぱい揉まれるのも気持ちいいから……
ん、ちゅつ、れちゅつ……噛んじやつたらゴメンね？」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（ディープキス）

【雅】

「れちゅつ、くちゅつ、ちゅふつ……
んんつ、ちゅぴつ、ちゅくう、ちゅつ、ちゅつ……」

【小夜】

「んっ、じゅるっ、ちゅぱあ……」

女子校生の口で上も下も気持ちよくなれるなんて、

先生は幸せ者ですね♪

【小夜】

「んぢゅっ、じゅぱっ、ぐぱっ、んぢゅうう……っ！」

んじゅるり、じゅくり、じゅるじゅる、じゅふう……り…」

【小夜】

「んふふっ、じゅく、じゅふっ、不意打ちでいいなり激しくしたのに、
よくイクの我慢できましたね♪」

【小夜】

「んじゅるり、ぢゅぢゅっ、

これなら、このまま激しくし続けても大丈夫そうですね」

//-----

【小夜】

「ぢゅ。ふっ、んぢゅり、ぢゅむっ、おちんちんだけじやなくて、
腰まで震えてる、んぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅぐうっ！」

※卑語なし ver

【小夜】

「ぢゅ。ふっ、んぢゅり、ぢゅむっ、男性器だけじやなくて、
腰まで震えてる、んぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅぐうっ！」

//-----

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（少し激しめのフェラ）

【小夜】

「んじゅっ、じゅぱっ、じゅく……んじゅるり、じゅぢゅっ……
ちゅくっ、んぢゅり、ぢゅっ、ぢゅっ…」

【雅】

「ふはあっ……キスしながら鳴るのでムズか——ふあっ！？」

「先生、あたしの胸に顔うずめでどうしたの？
おっぱい欲しくなっちゃった？」

【雅】
「ちょっと待ってね」

//@SE:ブラウスのボタンを外し、ブラも外す（ずらす）

【雅】
「はい、生おっぱい☆」

【雅】
「先生が大好きなふわふわおっぱい、好きにしていい——あん！」

【雅】
「あっ、あっ……はあっ……
おっぱい、先生にキス、されちゃってる……」

【雅】
「ん、あ、あ……小夜が先生にしたみたいに、
今度は先生があたしにキスマークつけるの？」

◆耳打ち

【雅】

「いいよ☆ 好きなだけ、あたしの体にキスマークつけさせてあげる☆」

【雅】

「——ひやあん！」

【雅】

「あっ、ああっ、せ、先生っ、そ、ほ、乳首は元々ピンクだから、
あっ、あんっ、キスマークはつかないってばあ」

【雅】

「んんっ、あっ、はっ、顔もおっぱいに押しつけて、先生、おっぱい好きす、ぎ
——あんっ！ あっ、ああっ！」

【雅】

「ああっ、あっ、んああっ、でも、これ、先生に甘えられてるみたいで……
んんっ！ ああっ、すぐ、いい……っ！」

【雅】

「はあっ、ああっ、あっ、先生に乳首ちゅーちゅーされると、
乳首、硬くなつて……あんっ！ あっ、あつ、
どんどん、敏感になつちやうっ！」

【雅】

「あっ、あっ、んんっ！ ああっ、あっ、先生、もつとしてっ！
んあっ、ああっ！ もつとお……っ！」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【雅】

「ふあっ、あっ、ああっ！ んっ、あああ……っ！
あっ、あっ、ああん！ ああっ、あっ！ ああっ！」

【小夜】

「じゅ。ふ。んぢゅう。ぢゅく。んんっ、
先走り汁の味、変わってきた、ぢゅ。ふ。んぢゅっ！」

【小夜】

「ぢゅむ。ぢゅ。ぢゅふ。ぢゅふ。先生、イキそ。うなん。す。ね？」

【小夜】

「んっ、じゅく。じゅむ、
ほらほら、じゅふ。我慢せずにイッていいんですよ」

「じゅる。ぢゅ。ぢゅふ。んぢゅ、私が受け止めてあげますから、
じゅるじゅる、思い切り射精してください」

【小夜】

「んむつ、ぢゅつ、ぐぶつ、んんつ、

私の口に、先生の精液、たくさん出してくださいっ！」

※射精（口内）

※口の中に出されただけで、飲んではいません

【小夜】

「んんつ！ んつ、ふつ、ん、んんつ……ん、んつ……」

【小夜】

「んつ……ちゅ、ぷつ……」

【雅】

「んんつ……先生、キスも、おっぱい揉むのも、やめちゃやだあ……」

■小夜：正面（左寄り？）

※ここから咥えてない状態です

※精液を口に含んだ状態で

【小夜】

「雅……」

【雅】

「んえ……？」

※口の中の精液を手のひらに出す

【小夜】

「んつ……」

【小夜】

「先生、精液が手から零れちゃいそくなぐらい出したから、
力入らなくなつちやつたみたい」

【雅】
「これが、先生のせーえきなんだ……」「…

【雅】
「うへい……」

【小夜】
「……ちょっと舐めてみる?」

【雅】
「う、うん……」

【雅】
「れろ……んつ……」

【雅】
「あれ? あんまり苦くない?」

※おかわり

【雅】
「んつ、ちゅる……ん、んくつ……」

【雅】
「んん~……先生のせーえき、ドロッとしてて、すゞく濃い……」

【雅】
「でも、これが先生の味なんだ……」

【雅】
「んつ……ちゅる……ん、んつ……ちゅる、ちゅる……ん、んつ……」

【雅】
「はあ~♪」

【小夜】

「え……? ちょ、ちょっと、全部飲んじやったの!…?」

「え？　あ、ホントだ、無意識に全部飲んじやつた」

【小夜】

「もう、仕方ないわねえ……」

【小夜】

「なんて言つもんですか！」

【雅】

「んんっ、れちゅるっ、ちゅくっ、んんう……っ！？」

【小夜】

「ちゅくっ、ちゅるっ、ん、んっ、雅の口の中、少しだけ、先生の精液の味が残つてる」

【雅】

「ん、んっ、くちゅっ……小夜、ちょっと待つて……んんっ」

【小夜】

「待たない、んちゅっ、くちゅる、ちゅふっ、んちゅっ、ちゅふう」

【雅】

「んふ、んっ、ちゅく、ちゅふ、んっ、ん、ちゅく、ん、んん……」

【小夜】

「れちゅっ、ちゅく、ちゅる、ん、んっ、ちゅふっ、くちゅっ、ちゅくっ」

【小夜】

「ん、ちゅぱあ……」

【小夜】

「ああ、もう先生の精液の味なくなつちやつた……」

「ああ、もう先生の精液の味なくなつちやつた……」

【雅】

「び、びめんね……？」

【小夜】

「まあ、いいわ。勝負には勝ったわけだし」

※エッチなことに夢中だったので忘れてる

【雅】

「？ しょーぶ……？」

【小夜】

「最初に『どちらが先生のことによりメロメロに出来るか勝負する』って話をしたでしよう？」

【雅】

「あつ！？」

【小夜】

「勝つた方が好きなことを命令できるよね♪」

【小夜】

「ふふっ、何をしてもらおうかしら」

※ちょいビビり

【雅】

「き、きついのは、なしね……？」

【小夜】

「じゃあ、雅と先生のセックスを見せてもらおうかしら」

【雅】
「！？」

【小夜】

「あら、先生とセックスしたくないの？」

【雅】

「そ、それは、したい、けど……でも……先生はいいの？」

//-----

【小夜】

「おちんちん、勃起したままですし……」

先生も、女子校生のおまんこに入れたいですよね？」

※卑語なし ver

【小夜】

「男性器、勃起したままですし……」

先生も、女子校生とのセックス、したいですよね？」

//-----

【小夜】

「ほら、先生も『うん』だつて」

【雅】

「く、くえ～、そんなにしたいんだ。じゃあ……」

〃◆耳打ち

【雅】

「あたしの処女と、先生のビースト、交換、しよ」

〃■雅 ..正面

【雅】

「先生はそのまま座つてていいよ。あたしが入れてあげる」

【雅】

「あ……パンツ脱ぐ前に跨がっちゃった」

【雅】

「ま、いっか。ずらせば大丈夫だもんね」

//@SE:「着をずらす／音する？」

//-----

【雅】

「おちんちんをおまんこに入り口に合わせて……」

※卑語なし ver

【雅】

「先生のを、あたしの大事なところに合わせて……」

//-----

//@SE:挿入

【雅】
「んっ！ あっ、はつ……ん、んんっ……」「…」

【雅】
「んっ、あ、あっ……」

先生におっぱいじられてエッチな体になっちゃったから、結構、すんなり入って来るっ」

【雅】
「あふ、んっ、あ、あ、あ……あ、んっ！」

【雅】
「はあ……はあ……」

//◆耳打ち

//-----

【雅】

「あたしのおまんこ 先生のおちんちんでいっぱいになっちゃった☆」

※卑語なし ver

【雅】

「あたしの中、先生のでいっぱいになっちゃった☆」

//-----

//-----

【雅】

「ね、先生……」

おまんことおちんちんだけじゃなくて、あたしたちも密着しちゃね☆」

※卑語なじver

【雅】

「ね、先生……」

あたしと先生の大事なところみたいに、あたしたちも密着しちゃね☆」

//-----

//■雅 : 正面（近距離@右耳[元）

【雅】

「初めてだから上手くできるかわからんないけど……」

//-----

【雅】

「おまんこで先生のおちんちん、たいくわえーじ」とあげるね」

※卑語なじver

【雅】

「いっぱい腰振つて、先生のたいくわえーじ」とあげるね」

//-----

【雅】

「んぐ、あつ……先生のおつきいけぐ、中、いっぱい濡れてるから……。はつ、あつ、ん……結構、スムーズに動ける……」

※汎用ボイス：小夜のセリフ中、裏で流す用（端末のみ）

【雅】

「あつ、あつ……ん、はあつ……あつ、あ、あつ……。あん、ん、んんっ……」

// ■ 小夜 … 左隣

//◆耳打ち

//-----

【小夜】

「どうですか、先生？ 雅のおまんこは？」

※卑語なしver

【小夜】

「どうですか、先生？ 雅の中は？」

//-----

【小夜】

「にゅるにゅるで、締まりが良くて、すゞく気持ちいい？」

【雅】

「んあつ、あ、ああつ……先生が感じてるの、
あつ、んん……よく、わかるよ」

//-----

【雅】

「あつ、あつ、おちんちんの反応が、んあつ、
おまんこにダイレクトに伝わってきて、ああつ、ああつ、すゞくいい☆」

※卑語なしver

【雅】

「あつ、あつ、先生の反応が、んあつ、
中にダイレクトに伝わってきて、ああつ、あつ、すゞくいい☆」

//-----

【雅】

「はつ、はあつ、もつと、もつと締めて、
あつ、あんつ、いっぱいシコシコしてあげるね☆」

※最初の「んっ」は力んだ表現です

【雅】

「んっ！ あっ、はつ……んんっ！ ああっ、あっ、はあん！」

//-----

【小夜】

「あっ、すゞ）いっ！ ああっ、あっ、初めてなのに、んあっ、あっ、おちんちんでおまんこ擦るの、気持ちいい……（…）」

※卑語な（）ver

【雅】

「あっ、すゞ）いっ！ ああっ、あっ、初めてなのに、んあっ、あっ、先生の中、擦るの、気持ちいい……（…）」

//-----

【雅】

「んあっ！ ああっ、ああっ、これ、ヤバいっ、んんっ！ クセになっちゃいそう……（…）」

【雅】

「ああっ、はっ、あっ、あっ、ますます先生の（）と、んあっ、好きに、なつちやう（…）」

※汎用ボイス・小夜のセリフ中、裏で流す用（強めの喘ぎのみ？）

【雅】

「あんっ、あっ、ああ……っ！ はつ、ああっ！ あん！ あっ、あっ、ああ……っ！」

【小夜】

「処女を満足させるなんて、すゞ）こですね、先生」

//-----

【小夜】

「ほら、雅のおまんこ、腰を動かすたびにグチョグチョつて、エツチな音がすごいじゃないですか」

※卑語なしver

【小夜】

「ほら、雅が腰を動かすたびに、グチョグチョつてエツチな音がすごいじゃないですか」

//-----

【小夜】

「こんなのは見せられたら、体が火照つて、我慢できなくなってしまします」

【小夜】

「先生、手をお借りしますね」

【小夜】

「んあっ……あふっ、んっ……あ、あっ……
やつぱり、先生の手でのオナニー気持ちいい……」

※汎用ボイス・雅のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【小夜】

「あっ、んっ……はあっ、あっ……あっ、あっ……んんっ……」

【雅】

「はあっ、ああっ、気持ちよすぎて足に力が入らないのに、んっ、ああっ、あっ、腰、止まんない……っ！」

【雅】

「んっ、はっ、ほら、さつきみたいに
上下に動いてパンパンするエツチじやなくて、あん、あっ、ああっ、
前後に動いて奥をグリグリするエツチに変わってるでしょ……？」

【雅】

「はう、はう、これ、んんっ、体が勝手に動いてるんだよ？」

【雅】

「ああっ、あっ、先生のこと好きだから、
んんっ、あたしの体が先生とのエッチを、
ふあっ、あっ、もつとしたいって求めてるみたい☆」

//-----

【雅】

「あんっ！ はっ、ああっ、先生のおちんちん、
んあ、ああっ、また大きくなつたあ☆」

//-----

※卑語なし ver

【雅】

「あんっ！ はっ、ああっ、あたしの中で、
んあ、ああっ、先生のがまた大きくなつたあ☆」

//-----

※卑語なし ver

【雅】

「んっ、あっ、はあっ、先生のおちんちんも、
んあっ、あっ、あたしのおまんこ求めてるんだ☆」

//-----

【雅】

「あっ、ああっ、はんっ！
いいよ、んんっ、奥で、グリグリいっぱい擦つてあげる！」

//-----

【雅】

「んんっ！ あっ、はあっ、あっ、あっ！ 先生のおちんちん、
おまんこの中や、ビクンビクンつて、んあ、あっ、いっぱい喜んでる☆」

※卑語な」ver

【雅】

「んんっ！ あっ、はあっ、あっ、あっ！ 先生の、
あたしの中で、ビクンビクンって、んあ、あっ、いっぱい喜んでる☆」

//-----

【雅】

「はあっ、あんっ、んんっ……」

先生、イキたくなつたら、んんっ、いのままイッていいからね？」

【雅】

「んっ、はあっ、ああっ、生徒と先生だからとか、そんなのかんけーないっ」

【雅】
「あっ、あんっ、あたしは、先生のことが好きだから、
ん、ああっ、中に出して欲しいの……っ！」

【雅】
「あっ、ああっ、大好きな先生に、いっぱい気持ちよくなつてわらひて、
んあっ、ああっ、あたしの中を、先生のせーしでいっぱいにして欲しいの」

【雅】

「そのくらい、先生のことが好き、大好きっ！」

【雅】

「はっ、んっ、ああっ、いつもみたいな軽口じやないの。
あんっ、ああっ、ああっ、あっ、本当に先生が好きっ」

//-----

【雅】

「ふあっ、んっ、大好きな先生とのエッチだから、
はっ、あっ、ああっ、こんなにおまんこグチヨグチヨなんだよ？」

※卑語なしver

【雅】

「ふあっ、んっ、大好きな先生とのエッチだから、
はつ、あつ、ああつ、あたしの中、こんなにグチヨグチヨなんだよ？」

//-----

【雅】

「はあん！　あつ、あああつ、好き、本当に好きつ、
んつ、あああつ、先生、大好き……つ！」

【雅】
「んんっ、はつ、ああつ、だから、出して、あつ、あんっ、
せーし、あたしの中に出して、ああつ、あつ、ああつ、いっぱい出してつ！」

【雅】

「ああつ！　あつ、あああ……つ！
先生、イクの？　ああつ、あつ、いいよ？」

【雅】

「んっ、はああつ、先生の、ああつ、大好きな先生のせーし、
んんっ、全部、受け止めるからつ！」

【雅】

「ひあっ、ああつ、大好きな先生のせーし、欲しい、
んんっ、はつ、ああつ、いっぱい、欲しいつ！」

★★次の雅のセリフの後ろでも大丈夫です
※射精（膣内）

【雅】

「ふああああああああ～～～～つ！～～！」

一一

雅

「あ、あ、出でる！ 先生のせーし、おまんこで、びゅーって、いっぱい出でる……」

※卑語なしver

「あ、あ、あ、出てる！ 先生のせーし、
あたしの中で、びゅーって、いっぱい出てる……！」

「んあっ、あっ、ああっ、なに、これっ、ん、ああああ……中出しつて、こんなに気持ちいいの……？」

「あつ、はつ、んんつ、あつ、またイクつ！
あつ、ああつ、ああああああああつ！！！！！」

「はっ、はあっ……はあっ……す」「い……ん、あ、ああ……エツチつて、すごい……」

「はあ……はあ……も、頭の中、真っ白では、ん……何も考えらんない……」

小夜

「余韻に浸つてゐるところ悪いけど、雅、交代」

【雅】

【小夜】

「今度は、私の番」

【雅】

「あ、うん……」

//@SE:抜く音（ぬちゅん etc）?

//■ 小夜：正面

//-----

【小夜】

「あら~、先生のおちんちん、半勃起ぐるいの大きさになつてね」

※卑語なこ ver

【小夜】

「あら~、先生の男性器、半勃起ぐるいの大きさになつてね」

//-----

【小夜】

「2回の射精で、精液、全部出し切つちゃつたのかしら……？」

【小夜】

「じゃ……」

//◆耳打ち

//-----

【小夜】

「雅に入れてたときも同じく、おちんちん、硬く、大きくしてあります」

※卑語なこ ver

【小夜】

「雅に入れてたときも同じく、男性器を硬く、大きくしてあります」

//-----

//@SE:バラウスを脱ぐ音

//@SE:スカートを脱ぐ音

【小夜】

「ふふい、部室で裸になつちやいました♪」

【小夜】

「遠慮しないで、上から下まで好きだけ見ていいでやよ」

【小夜】

「あ……」

【小夜】

「下着も脱いだから、愛液が太腿まで垂れてきちゃいました」

【小夜】

「ほら、見てください、先生」

//-----

【小夜】

「(ノヽ)が、今から先生のおちんちんを入れる(ノヽ)のですよ」

※卑語なこ ver

【小夜】

「(ノヽ)が、今から先生の男性器を入れる(ノヽ)のですよ」

//-----

//-----

【小夜】

「愛液がとろとろ溢れきて、

私のおまんこも、早く先生としたい(ノヽ)」

※卑語なこ ver

【小夜】

「愛液がとろとろ溢れきて、

私の(ノヽ)も、早く先生としたい(ノヽ)」

//-----

【小夜】

「ふふっ、先生、いやらしい目になつてますよ。
その気になつてきまししたか？」

【小夜】

「でも、まだ完全に勃起しきつてないので、入れてあげません」

※先生を跨ぐ

【小夜】

「ん、うん……」

//◆先生が完全勃起する（あはつ♪先生のおちんちん/男性器、ガチガチに）まで耳元で？

//-----

【小夜】

「ほら、もっと硬くしないと、

おちんちんが滑つて中に入らないでしょ？」

※卑語な」ver

【小夜】

「ほら、もっと硬くしないと、

男性器が滑つて中に入らないでしょ？」

//-----

//-----

【小夜】

「だから……

おまんこに届くくらい先生がおちんちん勃起させるまでお預けです」

※卑語な」ver

【小夜】

「だから……

私のアソコに届くくらい先生が男性器を勃起させるまでお預けです」

//-----

【小夜】

「あつ♪ どんどん勃ってきただ♪」

【小夜】

「ふふひ、そんなに私とセックスしたいんですね、先生♪」

【小夜】

「頑張って、先生」

//-----

【小夜】

「私のおまんこまで、あと少しですよ♪」

※卑語なこ ver

【小夜】

「私のアソコまど、あと少しですよ♪」

//-----

【小夜】

「勃起して、」まで辿り着いたら……♪」褒美に、私の処女、あげますよ♪」

//-----

【小夜】

「あはっ♪ 先生のおちんちん、ガチガチになりましたね♪」

※卑語なこ ver

【小夜】

「あはっ♪ 先生の男性器、ガチガチになりましたね♪」

//-----

【小夜】

「たくましく上に向いてて、すう」とです♪」

【小夜】

「先生……私とセックス、したいですか？」

【小夜】

「ふふへ、じやあしましようか」

//◆耳打ち

【小夜】

「実は、私も先生が欲しくて我慢の限界でした」

【小夜】

「先生の手でオナニーするの気持ちいいですか?……」

//-----

【小夜】

「やつぱり、先生のおちんちんが欲しいんですよ」

※卑語なし ver

【小夜】

「やつぱり、先生の男性器が欲しいんです」

//-----

【小夜】

「それじゃあ、先生。入れますね?……?」

//-----

【小夜】

「んつ、あつ……先生のおちんちん、
はつ、あつ、おまんこ、挿き分けながら入ってくる……。」

※卑語なし ver

【小夜】

「んつ、あつ……先生の男性器、
はつ、あつ、私の中、挿き分けながら入ってくる……。」

//-----

【小夜】

「あん♪ 先生の、一番奥まで来ました♪」

【小夜】

「はあ、はあ……やつぱり、先生の、ヤバ」[△]く大きい……」

〃◆耳打ち

【小夜】

「これ、すゞしく擦れると思うので……きつと、とても気持ちいいですよ」

〃-----

【小夜】

「私のおまんこ、たくさん堪能してくださいね♪」

〃-----

※卑語なし ver

【小夜】

「私とのエッチも、たくさん堪能してくださいね♪」

〃-----

【小夜】

「あつ、んつ……はつ、ん……
これ、ローターでのオナニーなんかとは比べものにならないです……」

【小夜】
「ん、はつ、ああっ……先生は、どうですか……？」

〃-----

【小夜】

「はつ、んんつ……擦れすぎて、おちんちん、痛くないですか?
んあ、あつ……大丈夫ですか？」

※卑語なし ver

【小夜】

「はつ、んんつ……擦れすぎて、男性器、痛くないですか?
んあ、あつ……大丈夫ですか？」

〃-----

【小夜】

「あっ、ん、ああっ……中がヒクヒク震えてるのがよくわかつて……んんっ……すゞく興奮する……？」

【小夜】

「ん、ああ……ふふっ、本音が素直に言えるようになつて、偉い偉い♪」

【小夜】

「はあっ、ん……最初は頭を撫でられるの恥ずかしがつっていたのに……ん、あ、あっ……今は、気持ちよさそうですね♪」

//♦耳打ち

【小夜】

「あっ、あっ……は、んっ……素直な先生、とても愛おしいです……」

※腰は動かし続けてます

【小夜】

「んっ、ちゅっ、ちゅっ……はあっ、んっ、ちゅっ……
ちゅっ、ちゅっ、んんっ……」

//---

【小夜】

「んんっ、ちゅっ……
はあっ、おちんちんもいいですけど、キスもいいですね……」

※卑語なし ver

【小夜】

「んんっ、ちゅっ……
はあっ、男性器もいいんですけど、キスもいいですね……」

//---

【小夜】

「あっ、んん……ほら、先生わかりますか……？」

【小夜】

「んあ、ああ……先生とキスするたび、
私、どんどん濡れてきちゃってるんです……」

【小夜】

「ちゅくつ、ちゅくつ、んんつ……
だつて、先生との、キスしながらのセックス……
あんつ、すぐ気持ちいいから……つ」

【小夜】

「んんつ、ちゅくつ、ちゅくつ……ん、ああつ……
けど、キスしながら腰を動かすの難しい……」

＝■雅　..右隣?

【雅】

「じやあ、腰の方は先生に任せよ」

【小夜】

「え……？」

【雅】

「先生、手と足の拘束、解いてあげるね」

//@SE:先生の拘束を解く音

【小夜】

「ふああつ！　あつ、ひあつ、あつ、ああつ！
せ、先生、いきなりそんなに突かれたら……つ！」

※汎用ボイス ..雅のセリフ中、裏で流す用（喘ぎ）

【小夜】

「あんつ、あつ、あああつ！　ふあつ！
あつ、ああつ、はあん！　あつ、あつ、あああつ！」

【雅】
「先生、
——ずーつと身動き取れなかつたもんね

【雅】

〔小夜〕

【雅】

//

小夜

「んあっ、あ？、ああっ！ そんなこと言われても、んんっ！
先生におちんちんで激しく突かれるの気持ちよすぎて、無理い……っ！」

※卑語なし ver

小夜

「んあっ、あっ、ああっ！ そんなこと言われても、んんっ！
先生に男性器で激しく突かれるの気持ちよすぎて、無理い……っ！」

//

雅

「じゃあ、先生から小夜にキスしてあげて」

〔小夜〕

ひあつ！？ ああつ！
キスつて、唇じやなくて、あ？、ああ？、乳首につ！？

小夜

「あっ、はっ、ああっ！ 先生、待つて、
ん、ああっ、私、乳首、弱いから、そんなにキスされたら——」

【小夜】

「ああああああああああああつ！-！」

「ふああっ！ あっ、あっ！ 私、イッてるのに、
んんっ、先生の腰、全然止まらない……っ！」

「うわあ、小夜の顔、めっちゃトロけてる……」

「あたしも、先生とエッチしてるとき、あんな顔してたのかな……」

※質たち

小夜

「ああっ！ あっ！ セ、先生、本当に待つてくださいっ！ んあっ、ああっ！ 私、一度イクと体が敏感になつて、イクの止まらなくなる質だから——」

卷二

「んっ、はあっ、ああっ、駄目、体に力が入らない……っ」

※密着状態
■小夜..正面(超近距離)

【小夜】
「ひあつ！ ああつ！ 先生に抱きついたら、

〔小夜〕
「ああっ、あっ！ 先生に突かれるたびにイッちやうつ！
あっ！ あっ！ あああああっ！！！」

あつ！ あつ！ あああああつ！！！

おお、先生に持たへいたれ

81

【小夜】

「あっ！ はっ、んんっ！」

最後まで、私が主導権を握ったまでいるつもりだったのに……っ！」

//-----

【小夜】

「ふあっ！ ああっ！ あっ！ イクとおまんこ締まるから、先生のおちんちんが、もつと擦れるようになるっ！」

※卑語なしver

【小夜】

「ふあっ！ ああっ！ あっ！ イクと中が締まるから、先生のがもつと擦れるようになるっ！」

//-----

【小夜】

「んんっ！ んあっ！ あっ！ はあん！
すごい……っ！ セッククス、すごい……っ……！」

【小夜】

「はあっ、あっ、あん！ んっ、ああっ！
先生、もつとしてください！ もつと、激しく……っ！」

【小夜】

「んっ、はっ、あっ！ ああっ！
私、おかしくなっちゃったかもしませんっ！」

【小夜】

「ひうっ！ ん、はっ！ あっ！ あっ！
ずっとイキっぱなしなのに、物足りないんですっ！」

【雅】

「小夜も、あたしみたいに中出しして欲しいんだよ」

〔小夜〕

— ! ! !

【小夜】

先生に申出しされるのを想像しただけでイツちやつた……つ！」

【小夜】

でも、想像だけじゃ、物足りなさが消えないんですつ！」

小夜 「はあっ、はあっ、あつ！ 先生、私にも、中出ししてくださいっ！」

〔小夜〕

先生の腰の動きが、もっと激しく……っ！」

小夜

「あつ！ ああつ！ ああつ！ ああつ！」

「ひあっ！ あっ！ あっ！ たくせん……っ！ たくせん、トセラーハー。」

一一

【小夜】
「んつ！」
あつ、はつ！
あああ……つ！

おまんこの中に、溢れるくらいたくさん、先生の精液、下さいつ……！」

※卑語なしver

【小夜】

私の中に、溢れるくらいたくさん、先生の精液、下さいっ！－！」

//

※射精（腔内）

//

「あつ、ああつ、熱いのが、おまんこの中で広がつてつて……んんんつ―――」

※卑語なしver

「あっ、ああっ、熱いのが、
私の中で広がってって……んんんっ！――！」

三

一一一

「あっ！ あっ！ あああっ！
これ、体も、おまんこも、全部蕩けちゃう……っ！」

※卑語なしver

「あつ！ あつ！ あああつ！
二れ、本の、中、全部薦け

//

雅

「母屋へ、すぐでしょ？」

「はつ、はあつ、ああつ、ええ、すゞい……んつ！
想像よりも何倍も気持ちいい……っ」

【小夜】

「ああっ、はっ、んんっ……こんなに気持ちいいの知つちゃつたら……
オナニーなんかじや満足できなくなつちやう……」

【雅】

「小夜、いつぱいイッてたもんね」

【小夜】

「はあはあ……はっ、はあっ……ええ、何度もイッちやつた……」

【小夜】

「はあ、はあ……はあっ、はあ……」

先生、先生とのエッチ、すゞく気持ちよかつたです……」

【小夜】

「んっ……はあ……はあ……」

先生、もう少し、抱きついたままでいいですか？」

//-----

【小夜】

「まだ、体が敏感なままだから……」

先生のおちんちん抜こうとしたら、

それだけで、またイッちやいそうなんです……」

※卑語なしver

【小夜】

「まだ、体が敏感なままだから……」

先生の男性器、抜こうとしたら、

それだけで、またイッちやいそうなんです……」

//-----

【小夜】

「ありがとうございます、先生」

【小夜】

「ちゅつ♪」

「あ、小夜、ズルいっ」

【雅】

「あたしも、気持ちよくしてくれてありがとね、先生」

【雅】

「ちゅつ♪」

※時間経過（長めの間？）

■小夜：正面（左寄り？）

【小夜】
「はあ♪ 素敵なひとときでした♪」

■雅：正面（右寄り？）

【雅】
「せ、先生、大丈夫？ なんか、べつたりしてるけど……」

【雅】
「え？ 『あれだけ自重してたのに、教え子に手を出してしまった』？」

【雅】
「えーっと……先に手を出したのは、あたしと小夜だけど……？」

【小夜】

「どうか、先生は気持ちよくなかったんですか？」

◆耳打ち

【小夜】

「私は、とても気持ちよかったです♪」

【雅】

「くふふっ、その反応、先生も気持ちよかつたんだあ☆」

【小夜】

「それはそうよ」

【小夜】

「だつて……」

〃■耳打ち

【小夜】

「3回も射精したんですけどもんね♪」

〃◆耳打ち

【雅】

「またしようね、先生☆」

//@SE:椅子がガタッと鳴る（驚き表現）？

【小夜】

「何をそんなに驚いているんですか？」

【小夜】

「あれだけ素敵な時間を一度、だけで終わらせるわけないじゃないですか？」

【雅】

「でも『じやないよ』

※笑顔で

【小夜】

「もし先生が拒否するなら、先生のエッチな顔の写真、学校中にはらまいちやいますよ？」

【雅】

「は、腹黒い……」

【小夜】
「あら、雅は乗り気じゃないみたいですし、私と先生の『ふたりだけ』で楽しみましょうか♪」

【雅】
「まつ、待つて待つて！ 誰も乗り気じゃないとか言つてないし♪」

【小夜】
「ふふっ、慌てちやつて雅つてば可愛い♪」

【雅】
「とつ、とにかく、多数決で先生の意見は却下だからね♪」

【小夜】
「納得してもらえたようで良かつたです♪」

【雅】
「じやあ、先生つ☆」

※二人同時
【小夜】

「これから毎日、たくさんエッチしよ♪」

【雅】

「これから毎日、たくさんエッチしよ☆」

//eof